

条幅部自由参考

5月25日正午必着

明石春浦先生書



幽鳥隔林招我醉

小桃當戶爲誰妍

(史蕭)

幽鳥は林の中で啼き、桃も紅の花をつけている。

明石幸子書



浩蕩東風裏  
衰世難行道

徘徊無所親  
花時不稱貧

危城三面水  
滔滔天下者

古木一邊春  
何處問通津

(李咸用)



かんがへて 飲みはじめたる 一合の 二合の酒の 夏のゆふぐれ (若山牧水)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

幽閑少是非 (周 弼)

幽閑是非少し。

閑居していると世俗のよし悪しから遠ざかることができている。

東風吹江水 花開照顔色 (汪中)  
相思人未歸 日暮隄上立

東風江水を吹き、花開いて顔色を照す。春風が川の面に吹き、花は目もあざやかに咲いた。だが、相思えども人未だ帰らず。日暮隄上に 想いこがれる人はまだ帰って来ない。独りさみしく堤上に立つ。

酬秦系

(劉長卿)

秦系に酬ゆ

劉長卿

鶴書猶未至 那出白雲來

鶴書猶未だ至らざるに 那んぞ白雲より出でて来る

舊路經年別 寒潮每日回

旧路年を経る別れ 寒潮 毎日回る

家空歸海燕 人老發江梅

家空しくして 海燕帰り 人老いて 江梅発く

最憶門前柳 閑居手自栽

最も憶う 門前の柳 閑居して 手自 栽えし

山河や 岩越す波の音 晴れぬ高嶺のさみだれの雲

(東 常縁)

半紙部規定課題A

5月25日正午必着

門 應  
愁 念  
倚

※作品には必ず落款を入れてください。

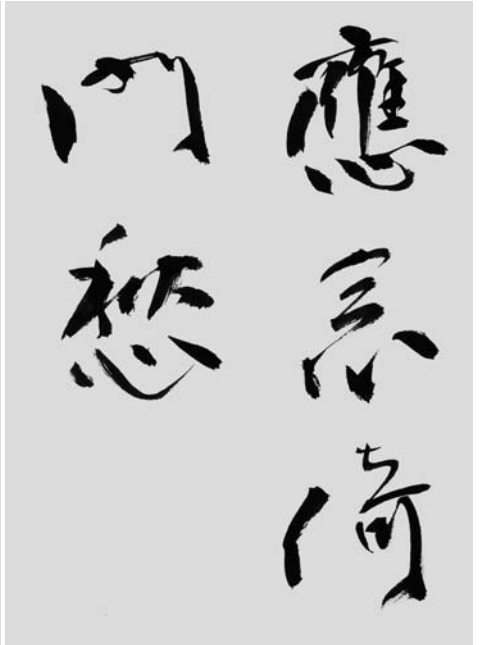
明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

5月25日正午必着

行書



隸書

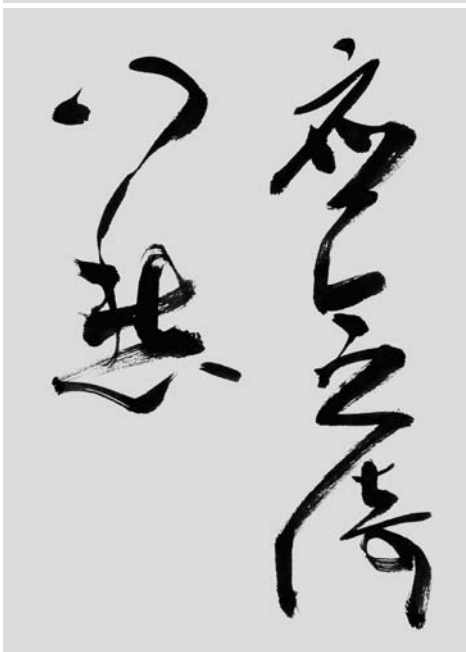


明石春浦先生書

草書



行草書



細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る  
 やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかしさだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受けつぐ  
 野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる  
 太守の甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

送下王牧往吉州 李嘉祐

謁史君叔上

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて

史君叔上に謁するを送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘し

野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし



至於永平、其有四年、詔書開余、鑿通石門、



永平に至り、其の有た四年、詔書して余を開き、(石門を)鑿通す。



其の有た四年、詔書して

後漢 石門頌

標高三千メートル前後という険峻を極める秦嶺を間に挟む陝西省と四川省を結ぶルートは古く秦代から開発されていたとい、漢代になると三本の幹線道路が開かれたといわれる。その一つに褒斜道がある。石門頌は建和二年(一四八)に、褒斜道修復に功績のあった楊孟文をたたえた記念碑であり、摩崖と呼ばれる、自然の岩肌に直接文字が刻まれた石碑である。高さ約二・六一メートル、幅約二・〇五メートルの大きさ、碑文は二二行。一行三〇〜三二字の隸書体である。

漢代は横画に波法をほどこす装飾性のある八分隸の完成期にあたるが、石門頌はその前期を代表する書といわれ、曹全碑や禮器碑のような整齊さからすると、その大らかさや、風化ともあいまっての古拙の中の暢びやかさ・飄逸さは、平成二十三年玄和九月号にも何紹基の臨石門頌を取りあげたが、古くから多くの人々を魅了する逸品といわれる。(春濤)

5月25日正午必着

教育部毛筆



き  
記

ろく  
録

中学一年

雨宮春聲先生書



りゅう  
隆

せい  
盛

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



じゅん  
順

じょ  
序

小学五年

藤井良泰先生書



のう  
農

か  
家

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



5月25日正午必着



さん

りん

小学三年

細谷春誠先生書



なか

にわ

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

へ や 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

お <sup>こめ</sup>米 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

明 る く 照 ら し て い る	太 陽 が 木 の こ す え を
---	---

小学五年

会 の 屋 根 の 上 を と ぶ	白 い は と が 美 し い 教
---	---

小学六年

源 の 宝 庫 で あ る	自 然 は 限 り な い 資
---------------------------------	--------------------------------------

中 学

お け る 唯 一 の 幸 福 で あ る	善 事 を な す の は 人 生 に
---	--

一般(級位)

静 か な る 聲 を ひ さ し く も 聞 か ざ り き 野 空 に ひ び く 郭 公 の 意	静 か な る 聲 を ひ さ し く も 聞 か ざ り き 野 空 に ひ び く 郭 公 の 意
--	--

一般(段位)

静かなる聲をひさしくも聞かざりき野空にひびく郭公の意(土岐善磨)

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ぐ	げ
	ん
こ	き
い	に
の	
ほ	お
り	よ

幼年

さ	小
ら	か
と	わ
な	か
が	
れ	さ
る	ら

小学一年

も	山
う	は
日	ゆ
か	う
く	や
れ	け
る	

小学二年

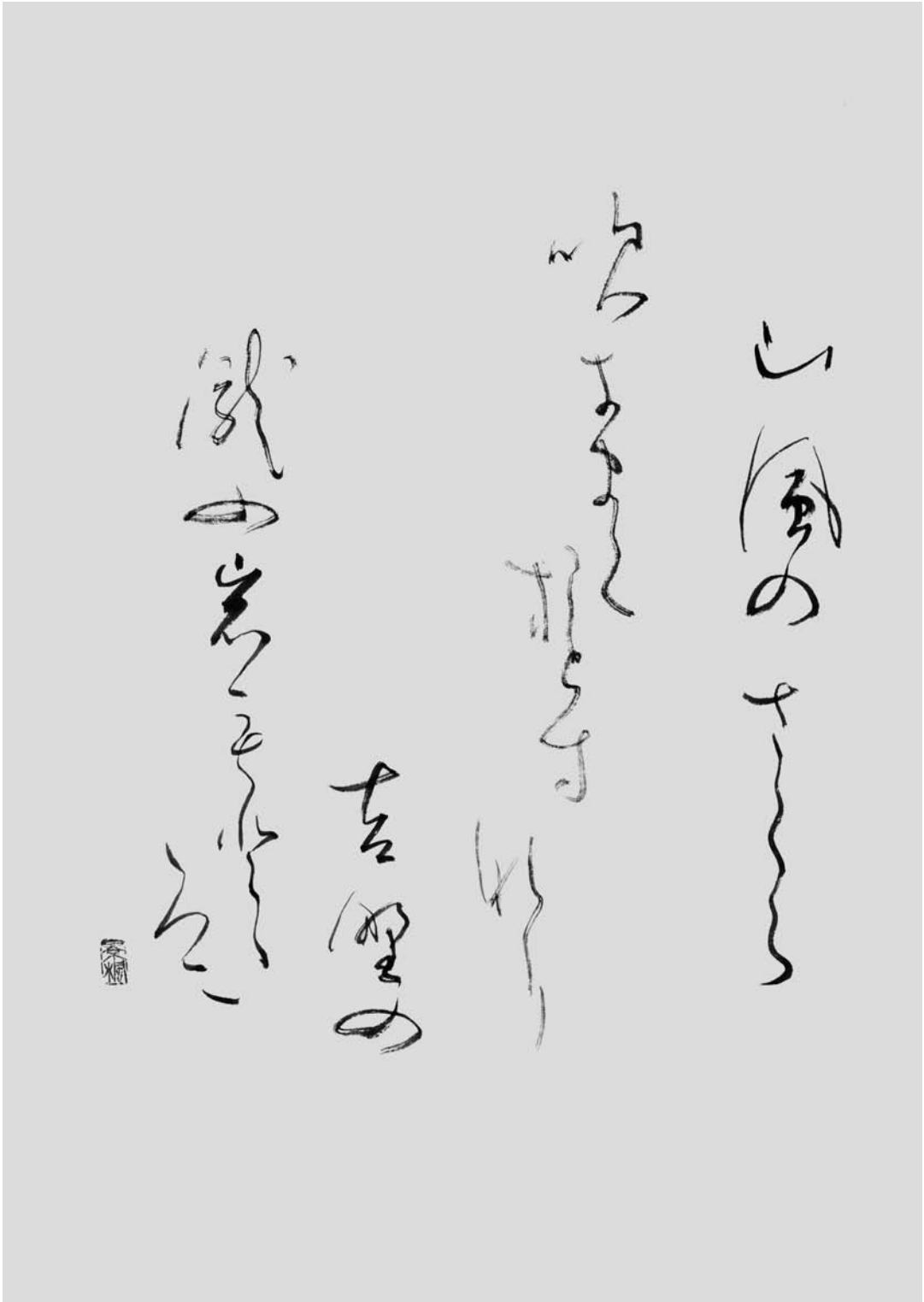
か	五
ざ	月
り	人
ま	ぎ
し	よ
た	う
	を

小学三年

な	水
木	車
林	の
に	音
こ	が
だ	の
ま	ど
す	か
る	

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。  
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



山風のさくら吹きまく  
文未 於寸那  
 おとすなり  
 吉野の灌の岩もどろに  
毛登  
 (源実朝)

岩本景楓先生書